

# グローバル30 同志社大学の取組（2010年度）

## 【構想の概要】

日本語教育制度を備えた日本語・日本文化教育センターを海外向け日本語教育と日本文化の発信基地として拡充・強化。AKP同志社留学生センター、チュービンゲン大学同志社日本語センター、スタンフォード技術革新センター、シェフィールド大学同志社センター、京都アメリカ大学コンソーシアム等海外有力大学のスタディ・アブロードプログラムの受入れセンターと日本語・日本文化教育センターの連携の緊密化を図るとともに、学生との交流を活発化し、キャンパスの国際化を推進。

## ■ 海外大学との教育連携等の拡大

### ○ ダブル・ディグリープログラム (DDP) の開始

工学研究科・生命医科学研究科は、既存のミラノ工科大学（イタリア）、ESPCI（フランス）に加え、平成22年度には西安電子科技大学（中国）とのDDPを開始。

なお平成24年度には、法学研究科がシェフィールド大学とのDDPを開始することが決定。

### ○ スタディ・アブロードプログラムの充実

学内に設置された海外著名大学（スタンフォード大学、シェフィールド大学等5機関）の日本センターを基盤にして、日本研究を志す海外大学の学生を対象に、京都の歴史的・文化的な資産も活かしつつ、日本語、日本文化等を学ぶ1年間や半期のプログラムを提供。短期のスタディ・アブロードプログラム受入数も増加している。

また、全世界の留学生を対象とした「日本語・日本文化研修（サマー・セッション）」を充実。

〈講義の様子〉



〈サマー・セッションの様子〉

## ■ 大学間交流協定等に基づく交換留学の拡大

優秀な留学生の受入れ及び日本人学生の海外留学のため、教員が積極的に海外大学に赴き、交流協定校を開拓し、交換留学対象校を拡大。

7ヶ国語の短期・中期のプログラムを合計21本提供し、日本人学生が合計300名以上参加した。

## ■ 海外事務所の設置

既存6カ所（マレーシア、アメリカ、イギリス2カ所、台湾、ベトナム）に加え、3カ所（中国（上海、北京）、韓国）を開設。平成23年度にも新たに1カ所（トルコ）開設予定。

### 〈大学間協定〉

平成21年4月現在  
28カ国 87大学



平成23年3月現在  
34カ国 144大学

### 〈学部・研究科間協定〉

平成21年4月現在  
19カ国 43機関



平成23年3月現在  
26カ国 83機関

### 〈短期受入プログラム数〉

平成18～20年度  
プログラム数 1



平成23年3月現在  
プログラム数 19

## ■ 英語コースの開講

平成22年4月、伝統あるアメリカ研究科を発展させた「グローバル・スタディーズ研究科」を開設。また9月からは工学研究科・生命医科学研究科が「国際科学技術コース」を開設した。

〈英語コース：講義の様子〉



## ■ 留学生受入れ体制の充実

### ○ アドバイザー、チューターによる支援・他

平成21年8月修業及び修学上の助言・相談等を行う「生活支援アドバイザー制度」、大学院生に日本語文章指導・添削等を行う「学習・研究支援チューター制度」を導入。奨学金・宿舎整備も推進。

### ○ 日本企業への就職支援

留学生向け就職支援パンフレット作成、日本企業での就職の準備から活動、インターンシップ等も含めた情報案内。キャリアカウンセラーによる留学生就職支援。